

6・16

## 春日山支部・支部総会 開催しました。

民商本体と共済会の定期総会（同時開催）を来月迎えるにあたり、各支部で支部総会が開催されています。今月16日は春日山支部で支部総会が開催され8名の会員が集まりました。その中には今年の4月に入会したばかりの上石さん（63）＝電気工事業も参加され、皆さんとは初対面。以前民商に入会していたこともあったのですが、暫くしてから退会したとのこと。今回は一人親方の労災保険に加入するために民商に入会となりました。その他にも春日山支部には最近1年以内に入会された方が4～5人いらして、総会に誘ったのですが生憎都合がつかなくて上石さんだけが参加となりました。



その他には「いつも野郎ばかりでつまらないよねと言われていましたので、若い女性の会員にお願いして来てもらいました」と支部長の弁。今年の5月で24歳になったばかりの中林さん＝建設業も参加され、いつもになく和やかに華やいだ総会となりました。実をいうと3～4か月前に出産を経験したば

かりの新前ママさんで、仕事には復帰しているのですが、コロナのせいで飲み会も無くなり、久しぶりの飲み会に嬉しくて参加したそうです。子供は実家の母に頼んでの参加でした。たまには気晴らしも必要ですよ。

決めごとはさつさと決めて、冷たいビールを飲みたいと思つていらっしゃる方が大半でしたが、事務局から



身近に迫った参議院選挙のことや、各種署名、消費税減税・インボイス中止のハガキ書きと、中々懇親会には辿り着きません。その効果もあつて、やつと飲めた冷たい生ビールはさぞかし美味しかったことでしょう。会話も弾み久し振りの懇親会も、会員同士の親睦を深め有意義なひと時となりました。

## ◎源泉税納付と 算定基礎届

### 実務会の開催

今年7月11日（月）までに「源泉税納付」と「社会保険算定基礎届」の書類を提出しなければなりません。下記の通り、実務会を開催しますので該当される方はご参加ください。

■7月5日（火）民商会館 13時半～

■7月6日（水）カルチャーセンター 13時半～

なお、昨年書きましたが、納期限を守らないとペナルティのような意味合いで課される「不納付加算税」もあり、極力納期限は守るようにしなすよう。



7・24

## 上越民商第58回総会 共済会第35回総会 同日開催いたします。

日時 7月24日（日）午後1時半～

会場 市民プラザ（土橋）第1会議室

※懇親会はありませんが、会場にて50年以上の在籍会員（親子の継承含む）、40年以上の在籍会員への感謝状の授与と、記念品の贈呈を予定しています。また、総会までに会員・読者など仲間増やしにも力を入れて取り組みたいと思います。ぜひ対象者を紹介してください。



## 上越市の第4次支援金は、 今月末まで

今年1月31日から受け付けていた国の「事業復活支援金」も、一度延長がありました。ところが今月17日で締め切られました。あと残っているのが上越市の第4次支援金です。対象期間が昨年12月から今年の4月までで、基準期間が令和元年の同期間です。その期間の月売上を対比して、最低でも25%以上の減少率の月が2つ以上無くては該当になりません。給付額は減少率や売上規模に応じて最高100万円が支給されます。第5次の支援金制度が実施されるかどうかはまだ発表されていませんが、第1次～第3次までの給付を受けた方も対象ですので、該当するのではと思われる方は資料をお持ちください。民商が手続きのサポートをいたします。会員の方には別途料金は、《裏面に続く》

掛かりませんが、会員以外の方は民商へ入会が必要となります。

## 天下分け目の「参議院選挙」

今月22日公示、来月10日投票の参議院選挙。まさに天下分け目の選挙となります。争点は軍事費増強・憲法改悪か、憲法9条厳守・平和外交かの選択と、戦費調達のための消費税増税か、商売・生活のための消費税減額・インボイス制度導入中止かの選択です。



現実にマレーシアでは2018年の総選挙で消費税廃止を掲げて闘った勢力が勝利し、消費税が廃止になりました。今では、世界90ヶ国・地域がインフレ対策として、消費税減税を実施し、国民の暮らしを守ろうとしています。なのに、日本は他国とは逆に、消費税を上げる方向（インボイス制度導入）に舵を進めています。

「失われた30年」バブル崩壊後平均賃金はほとんど上がらず、しかも老後の頼みの綱の年金まで減る有様。このままでは日本国民は浮かばれません。

「井の中の蛙大海を知らず」。舵取りさえ間違わなければ先進国並みの社会保障・福祉は受けられるはずでした。大企業や大金持ち減税に穴埋めされてきた消費税。生活に追われている庶民からも搾取されてきた消費税。その象徴として約500兆円とも言われる大企業の内部留保があります。そこにこそ、課税すべきです。

世間や国会ではロシアのウクライナ侵攻をいいことに、軍備増強を声高に叫んでいる方々がいいます。共産党を除く野党も軍備増強には前向きです。しか

し、軍備増強には際限がありません。

あつちがこうならこっちはその上をと果てしがないのです。「大



軍拡」に反対し、「軍事対軍事」でなく憲法9条を生かした外交の力で平和を作ろうと、明確な対案の旗を掲げているのは、残念ながら日本共産党以外にはありません。

しかもそれって、国民の生活を犠牲にして軍備増強に励んでいる「かの国」と同じではありませんか。あんな国になりたいと思いませんか？ 戦前の反省から戦争を放棄した日本。憲法9条あつての平和な戦後でした。国民の多くは武力による平和は望んでいないはず

です。仮に抑止力を高めるといふなら究極は日本も核を持つことになります。自民党よりタカ派の維新は「核共有」を盛んに主張しています。唯一の被爆国であり、無念



にも核爆弾やその後の放射能被爆で亡くなられた多くの犠牲者は核廃絶を願っているというのに。

改憲勢力に2/3以上の議席を与えれば必ず憲法改正を目指すでしょう。戦前の日本にまた戻るのか、戦後の戦争を放棄した平和な日本を続けるのか、正に天下分け目の選挙です。

県の業者後援会も早々に現職森候補の再選を支持し、市民と野党の共闘を今回も実現すべく動いています。6年前や3年前の参議院選挙を思い出してください。新潟県は選挙区で自公が応援する与党候補を下し、市民と野党共闘の候補が勝ちました。

上越民商も、今回の参議院選挙、役員会や機関会議で選挙区では森候補を推薦して選挙戦をたたかいます。比例代表では軍備増強に反対する政党名をお書きください。業者後援会を中心に、支部の役員さんと会員訪問を計画しています。支持の拡大と選挙募金（500円ワンコイン）の協力を心から訴えます。

なお、今月23日から市内各所で期日前投票が行われています。投票は2回。選挙区には支持候補者名を。比例代表には政党名か比例代表で立候補している候補者名を書くこととなります。

**会員・読者・共済会員・婦人部員・青年部員 各々募集中です！**

民商では5月から7月にかけて国・県・地元の組織の総会が立て続けに開催されます。それに向け現在仲間増やしに奮闘中です。あなたの身近な人で民商の仲間になれる人、商工新聞を読んでもくれる人を紹介して下さい。

### 婦人部より

### そうめん入荷のお知らせ

今年も、本場「小豆島」から取り寄せているとても美味しいそうめんが入荷いたしました。毎年、お中元などにご利用頂く方が多く、皆さんから大変ご好評を頂いております。

### 『小豆島手延べそうめん』

1箱 1.8kg 2,300円

包装や、のし掛けも致します。

